

大山

大阪府議会議員

あきひこ



公明党

2018年春号

ニュース



発行: 大山明彦府政事務所 〒581-0003 八尾市本町4-4-9-202
TEL 072-999-4649 FAX 072-999-8739 E-mail: ooyama@komei-fu.com

大阪府議会2月定例会 (2月23日~3月23日)



【大阪重粒子線センター】

健康福祉常任委員会報告

重粒子線がん治療患者支援制度を実現! 今後さらなる制度拡充を提案!

大山議員がこれまで提案してきた、重粒子によるがん治療を行う「大阪重粒子線センター」が4月1日にオープンした。

そして、高額な治療費が必要であるため、治療を受ける患者への支援策を創設するよう提案してきたが、府は金融機関と連携して、必要な治療費の確保を支援する制度を創設すると答えた。

さらに、直接助成する制度を実施する他、粒子線、免疫療法を含むがん先進医療全般を対象とする支援制度を創設するよう求めた。



健康づくり支援プラットフォーム整備事業を実施! ポイント還元で、健康づくりを促進!

大山議員は、これまで健康寿命の延伸を推進してきたが、来年度から「健康づくりプラットフォーム事業」が具体的に進められていくことになった。これは、府民にはスマートフォンのアプリを活用した歩数のカウントにより、ポイントが貯まり抽選で賞品と交換できると、国民健康保険被保険者には、特定健診の受診申告をウェブ上で行うことで、最大3千円程度のポイントが貯まる仕組みとなる。これによってさらに府民の健康づくりの促進につながることになる。

子どもの命を守れ! 児童虐待防止対策のさらなる充実・強化を!

最近、箕面市や大阪市で死亡事件が発生したことを受け、大山議員は虐待防止対策のさらなる充実・強化を求めた。平成16年の岸和田市での事件の折、大山議員は当選一期目であったが、本会議で知事に対策を求め、当時初めて府に児童虐待等危機介入援助チームが立ち上げられた。その後も、警察・市町村・弁護士等の連携体制を構築してきたが、痛ましい事件は後を絶たない。議員は、これまでの検証結果をしっかりと活かす仕組みを構築し、危険のシグナルを見逃すことなく、児童虐待ゼロの大阪府をつくれと強く求めた。



＼やりました／

主な実績

＼できました／

府民の皆様から寄せられる様々なご意見、ご要望などをもとに公明党大阪府議会議員団が実現させてきた政策のうち、主なものを紹介します。

① 最先端のがん治療拠点を大阪に

昨年3月「大阪国際がんセンター」(大阪市中央区)が開院しました。最新鋭の放射線治療装置を3台設置するほか、患者の就労支援相談窓口や脱毛といった外見の悩みに対応するサロンもあります。

また、この3月には隣接地に「大阪重粒子線センター」が開院、10月から治療を始めます。放射線の一種、重粒子線を病巣部に集中的に照射することで、正常な細胞を傷つける副作用が少ない治療が受けられます。外科手術が難しい体の奥にあるがんや、すい臓がんなど難治性のがんにも効果が期待されています。

② 動物の殺処分をゼロへ

「大阪府動物愛護管理センター」(羽曳野市)が昨年8月に開所しました。動物の殺処分ゼロに向け、犬や猫の引き取り数減少や譲渡を進めるとともに、動物愛護に関する意識の啓発を図ります。

同センターは保護された犬や猫の飼育体験を通じ、ペットとの暮らし方を考える「施設学習型ゾーン」と、木々に囲まれた広場で動物と触れ合う「自然活用型ゾーン」があります。今後は小学生を対象に動物愛護の出前授業を予定しています。



③ 結婚に“縁ジョイパス”

府内在住の新婚世帯(結婚後1年以内)と1年以内に結婚を予定している人たち向けに「おおさか結婚縁ジョイパス」が昨年11月にできました。婚姻届の提出時に交付されるほか、スマートフォンやタブレットにパスを取り込んで利用できます。府内の協賛店の利用時にパスを見せると5-10%の代金割引や生活用品がもらえるなどの特典があります。有効期限は2020年3月末です。



④ 発達障がい者支援も前進

大阪府の総合就業支援施設「OSAKAしごとフィールド」(大阪市中央区)は精神・発達障がい者の就労支援に力を入れています。一人一人の特性に合わせたプログラムを用意し、カウンセラーが詳しく相談に応じます。

⑤ 府立高トイレの洋式化

今後3年間で107府立高校のトイレを順次洋式化していきます。各校とも1階から最上階まで垂直方向の縦一列に位置する1系統のトイレを全面改修します。すでに完成した高校は生徒が喜んでくれています。

